

調査結果の概要と今後の取組について

丹波市立春日中学校

4月18日(火)に実施された令和5年度全国学力・学習状況調査結果の分析を行いました。その概要をお知らせいたします。

この調査で測ることができるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一部でしかありません。したがって、本調査で測れていない学力や教育活動を含め、総合的に分析し、今後の教育活動に役立てていきます。

1 調査の概要

(1) 目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。
- ◇調査の取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 内容

①教科に関する調査(国語・数学・英語)

- ◇身に付けておかなければ後の学年等の学習に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など。
- ◇知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立てて実践し評価・改善する力など。

②生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査

- ◇児童生徒に対する調査(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査)
- ◇学校に対する調査(指導方法に関する取組、指導方法の工夫、学校経営に関する取組、家庭・地域との連携の状況)

2 教科に関する調査の結果

(1) 全体の概要

今回の調査は「国語」「数学」「英語」の3教科で実施されました。調査結果は、「国語」は全国平均正答率を上まわり、「数学」「英語」は、全国平均正答率と比較して同程度という結果でした。また、無回答率も全国平均と同程度でした。ただ、「数学」「英語」は、分布状況を見るとやや2極化傾向にありました。今後は、個別最適な指導を工夫し、解消されるようにしていきます。

(2) 国語

【成果】

- ・「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」の領域では、全国平均を上回っています。
- ・12問以上正解という高位層者数は全国平均を上回っています。

【課題】

- ・「文脈に即して漢字を正しく書く」「話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問する」ことに課題があります。
- ・「文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考える」ことは、全国平均を上回っていますが、無回答率も高くなっています。

**【改善の方向性】**

話し手に質問する際、質問の適切な機会をとらえるとともに、話し手が伝えたいことを確かめたり、足りない情報を聞き出したりするなど、知りたい情報に合わせて効果的に質問ができるよう指導していきます。

漢字練習や慣用句・四字熟語などの言語に関する知識に関わる学習を、朝学習や授業の中で繰り返しおこなっていきます。

(3) 数学**【成果】**

- ・「目的に応じて式を変形したり、事柄が成り立つ理由を説明したりする」ことや「数学的に解釈し、説明できる」ことにおいて全国平均を上回っています。
- ・12問以上正解という高位層者数は全国平均を上回っています。

【課題】

- ・「データの活用」の領域において課題があります。また、用語の理解に課題があります。
- ・12問以上正解という高位層者数は全国平均を上回っていますが、正解が4問以下の生徒も一定数います。(やや2極化しています。)

**【改善の方向性】**

- ・度数分布表やヒストグラムから累積度数などをもとめ、それを用いてデータの分布傾向を読み取って判断し、その理由を数学的な表現を用いて的確に説明できるよう指導していきます。
- ・用語や問いの内容を理解させるために、定義を自分なりの言葉で説明するなどの指導をおこなっていきます。

(4) 英語**【成果】**

- ・「文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書く」ことや「目的に応じて英語を聞き、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取る」ことでは全国平均を上回っています。
- ・「社会的な話題について、短い文章の要点を捉える」ことでは全国平均を上回っています。

【課題】

- ・「社会的な話題に関して読んだことをについて、考えとその理由を書くこと」に課題があります。また、無回答率も高くなっています。
- ・「自分の置かれた状況かなどから判断して、必要な情報を読み取る」ことに課題があります。
- ・12問以上正解という高位層者数は全国平均を上回っていますが、正解が4問以下の生徒も一定数います。(やや2極化しています。)

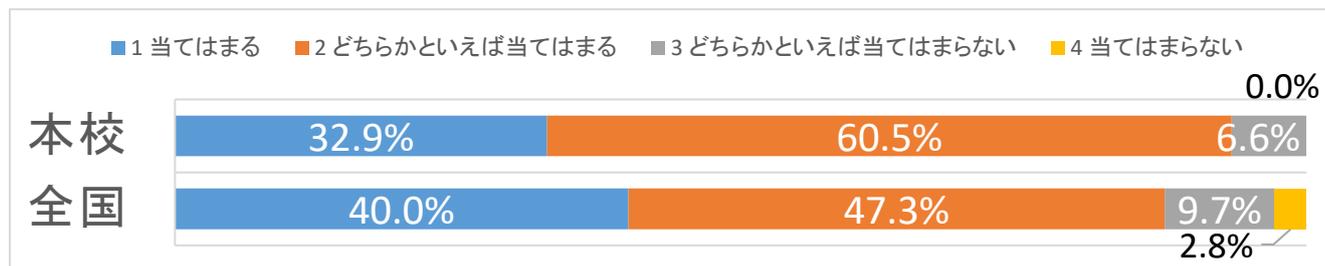
**【改善の方向性】**

- ・読む目的に応じて要点を捉えたうえで、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなどの領域を統合した言語活動をおこなっていきます。
- ・語と語の関連や代名詞、接続表現などを手掛かりにしながら、段落内の乗法関係を正確に把握するとともに、段落の内容を関連付けていくことで、文章全体の内容を捉える指導をおこなっていきます。

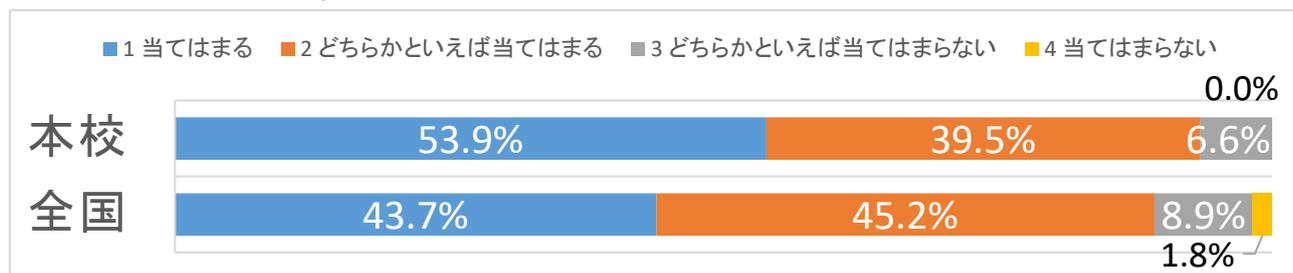
3 生徒質問紙の結果

学校生活

(1) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。



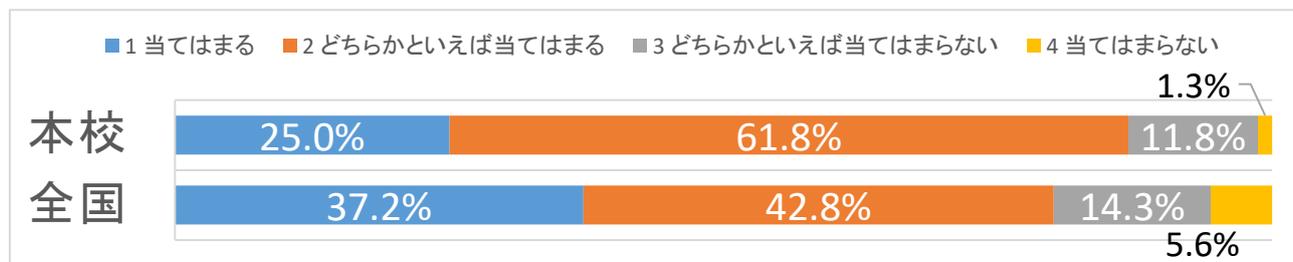
(2) 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか。



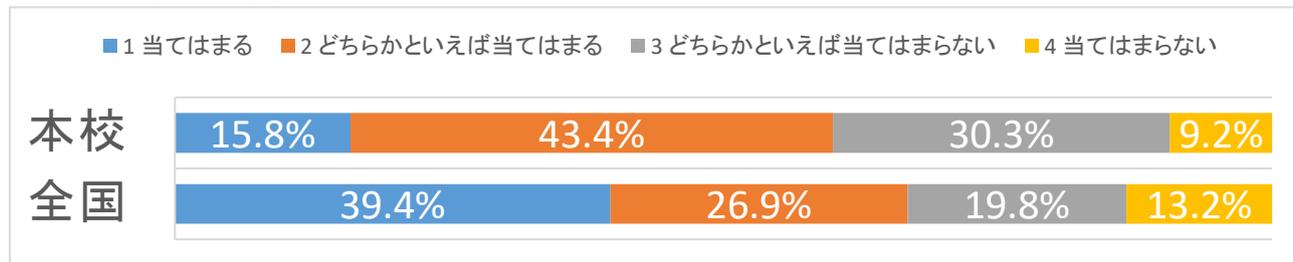
いずれの項目も、肯定的回答が全国平均を上回っています。「傾聴・受容・共感」に基づいた、「生徒指導」「仲間づくり」「生徒支援」「学習支援」に取り組んできた成果であると思われます。今後も発展、継続させていきます。

自己有用感

(1) 自分には、よいところがあると思いますか。



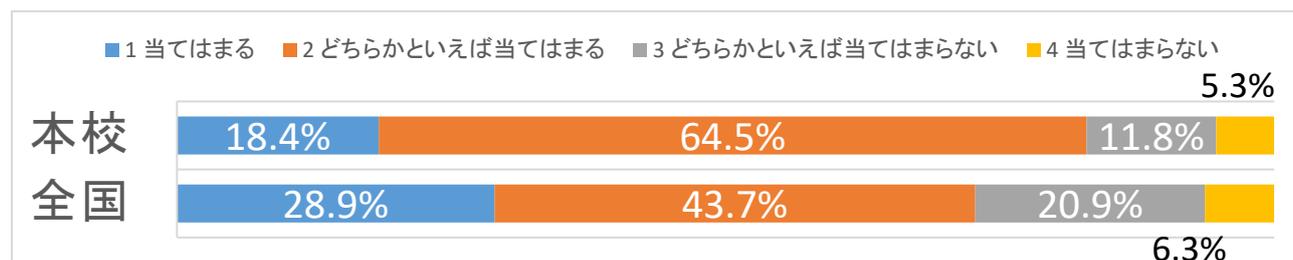
(2) 将来の夢や目標を持っていますか



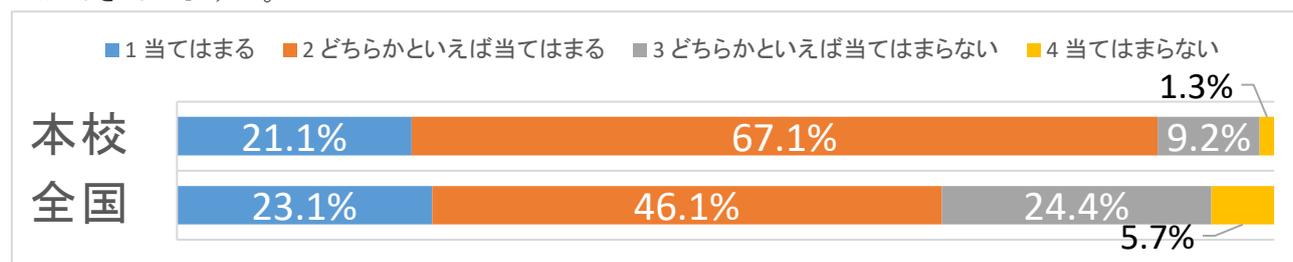
自分によりよいところがあると肯定的な回答をした生徒は、全国平均を上回りました。一人一人の成長を評価し、言葉かけをするなど、自己有用感を高めることをさらに進めていきます。将来の夢や目標を持つことについては、課題があります。体系的・系統的なキャリア教育をさらに充実させ、「キャリアプランニング能力」をはじめとした基礎的・汎用的能力を育成していきます。

学習への取組

(1) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。



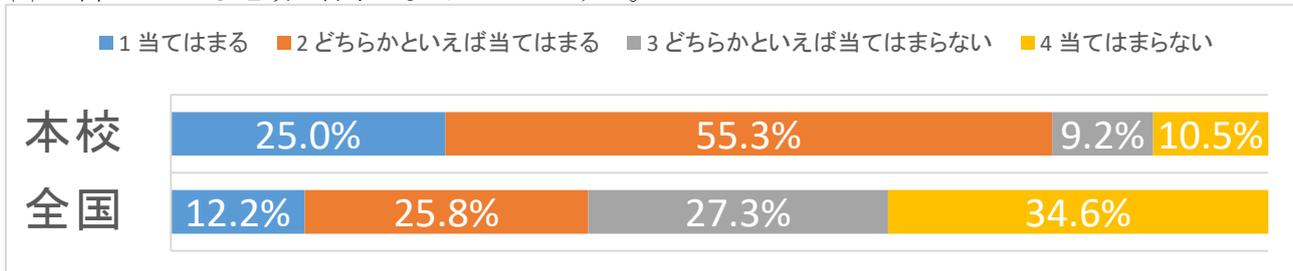
(2) 学習した内容について、分かった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。



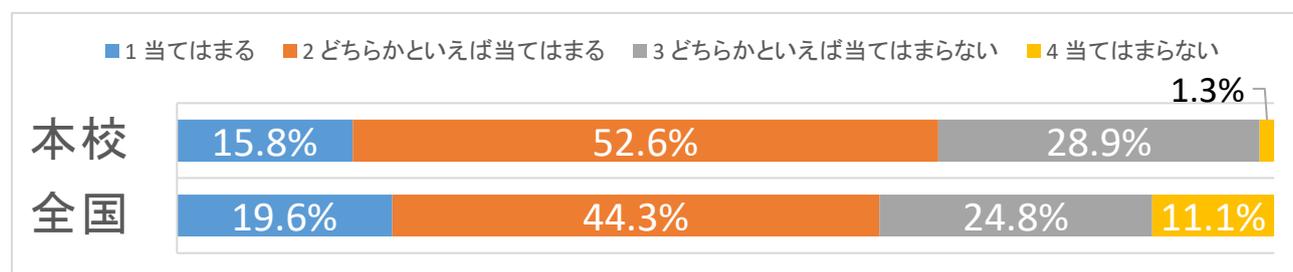
いずれの項目も、肯定的な回答が、全国平均を大きく上回っています。本校教育の特色の1つである、「アントレプレナーシップ教育」を中心とした、探究学習を推進することで、自ら課題を見つけ、その課題を克服しようとする態度が養われていることが分かります。今後とも継続して取り組み、さらなる成果に結び付けていきたいと思えます。

地域との連携

(1) 今住んでいる地域の行事に参加していますか。



(2) 今地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いませんか。



いずれの項目も、肯定的な回答が全国平均を上回っています。ふるさとを愛し、ふるさとの未来を考える力をさらに育むとともに、地域とともにある学校づくりを進めていきます。

「安全・安心な学校づくり」に向け、「心のアンケート」や「生活アンケート」などの調査をもとに、集団の向上や個々への支援、生活習慣の向上をさらに進めていきます。さらに生徒の「居場所づくり」を推進し、意見を自由に言えたり、相手の意見をしっかり聞けたりする環境づくりに努めていきます。